

通常議員総会を開催 2019年度事業計画並びに収支予算を承認

去る3月26日(火)午後4時00分から、刈谷商工会議所大ホールにて通常議員総会が開催された。総会では、2019年度 刈谷商工会議所事業計画・収支予算をはじめ、上程されたすべての議案が原案通り可決承認された。

2019年度 刈谷商工会議所事業計画

【基本方針】

最近の我が国経済は、雇用所得環境の改善や自動車輸出などが堅調に推移していることを背景に、企業収益の改善や個人消費も持ち直しており、緩やかな景気回復基調にあります。

しかしながら、原材料費、人件費の上昇や深刻な人手不足、IT関連への設備投資、経営者の高齢化に伴う事業承継問題に加え、本年10月には消費増税も控えており、中小・小規模事業者を取り巻く環境は、依然として厳しい状況が続いております。

このような中、本年は、役員・議員改選の年であり、新体制移行と同時に現任期の最終年度となります。この機会を総まとめの時期として捉え、従前の事業総括に向けた評価をしっかりと行い、円滑な新体制への移行と盤石な基盤づくりを図って参ります。

当商工会議所におきましても、経営環境が大きく変化していく中で、企業が持続的な成長を遂げられるような支援体制を構築していかねばなりません。

「現場主義」、「双方向主義」の行動指針のもと、企業の成長を後押しする「伴走型支援」の強化や中小企業の新たな経営課題に対応できるよう専門家による社員教育の実施や生産性の向上に繋がる活動を積極的に展開致します。

さらに、業種を問わず、人手不足が一層深刻化していることに鑑み、働き方改革や女性・外国人等の多様な人材の活躍を推進致します。

また、地域の抱える課題として、インフラ整備をはじめとする行政機関への提言・要望活動や防犯・交通安全の推進による安心安全な街づくりまで、会員企業・関係機関と連携を強化し、地域経済の活性化、地域社会の発展のため尽力して参ります。

本年も会員の皆様をはじめ、行政当局や関係機関、市民各位のご理解とご支援を頂きながら諸事業を推進して参りますので、皆様方の一層のご協力をお願い申し上げます。

1. 中小企業・小規模事業者への経営支援

(1)会議所を中核とした支援施策の活用促進

- 経営発達支援事業の認定計画の円滑な推進
- 公的補助金制度の積極的な活用（持続化補助金等）
- 推薦融資制度の活用の促進（マル経融資制度・金融機関提携融資等）
- 消費税軽減税率制度導入と消費税転嫁対策支援
- 働き方改革（多様な人材活用）・IT推進（省力化）の支援

(2)経営体質の強化と人材育成支援

- 現場強化：『刈谷モノづくり大学（専門家派遣）』
- 人材育成：『刈谷モノづくり大学大学院（専門知識取得）』
- 経営者研修：『刈谷モノづくり大学大学院MBA（経営講演会等）』

(3)産学連携強化による地元中小企業への就業支援（人手不足解消支援）

- 地元中小企業と地元実業高校を結ぶ人材マッチング
- 地元出身大学生の地元中小企業への就労支援

2. 活力あふれる地域社会創造への取り組み

(1)個店強化と集客力向上への取り組み支援

- 消費税軽減施策への対応による販売促進と個人消費の拡大
- 『かりや商人大学』・『かりや商人大学大学院（専門コース）』の継続
- 『かりやビジネス創造塾（経営指導員による訪問個別指導）』の継続

(2)まちの賑わいづくりへの取り組み支援

- 地域行事の振興（刈谷わんさか祭り協力・刈谷産業まつりの実施）
- 地域経済に波及する観光振興の推進（日商ネットワークへの参画）
- 行政×地区×商店街との都市計画づくり参画（中心市街地活性化委員会）
- ワークライフ・バランスの提唱（環境整備支援）

3. 行政機関等への積極的な提言・要望

(1)国への税制改正・中小企業/景気対策・インフラ整備等の提言・要望

- 日商にて意見集約～日商会頭より政府へ申し入れ
- 地元出身議員からの関連情報の先取り・理解促進
- 刈谷スマートICの整備促進と名古屋三河道路の計画の具体化